

24年度の財光寺小学校の教育

本年度、459名でスタートした財光寺小学校の平成24年度も一月が経過しました。新入生77名もだいぶ慣れ、これまでのところ順調に学校生活に馴染んできています。勉強もすでに年間計画に従って進められています、みんな元気よく取り組んでいます。給食当番やそうじなどは上級生が手際よくやってくれるので、特に心配はないようです。

さて、国によって定められた新学習指導要領の実施は小学校では今年2年目を迎えます。この新学習指導要領でも求められているのは「生きる力」です。生涯にわたって自分自身の人生を生き抜く力を身に付けさせることが目標です。その基礎を築くことが小学校における教育だと思っています。

そこで財光寺小学校の教育目標は「わたしを見てくださいといえる財っ子の育成」～たくましく なかよく かしこい子を育てる～ としています。これは今の財光寺小学校の教育的課題である

- 基礎的・基本的な学力の確実な定着を図る。
- 思いやりと感謝の気持ちを持ち、自分や学校や地域を誇りに思う心を育成する。
- 基本的な生活習慣や健康習慣の定着を図る。
- 安全で楽しい学校づくりに努める。

を達成することを念頭においての教育目標であり、「知」「徳」「体」を調和よく育成することを目指しています。

財光寺小学校では過去数年間にわたって、英会話科の授業をどう進めたらよいか、また、図書室を活用した読解力の向上をどう目指したらよいかの研究に取り組み、内外にその成果を発表してきました。今年度も引き続き、新しい視点での指導方法の工夫改善に取り組み、特に算数科・国語科を意識した更なる基礎学力の向上に取り組んでいきます。2つの研究公開を通して子どもたちが身に付けてきたコミュニケーション能力や本を読むことが好きになってきていることは私たちが描いている目標を達成していくためのよい状況が生まれていると感じています。

また、最近では小学校から「キャリア教育」の大切さが言われるようになっていきます。いずれ社会人となっていく子どもたちにとって、自立した大人になることの訓練は今からでも早いとは言えないのではないかと考えることです。その第一歩は「あいさつをする」と言うことです。他の人とのコミュニケーションを通して、人間関係を築くことができることは「生きる力」を身に付けることであり、あいさつができることはそのことに繋がっていると言えます。あいさつについては、まだ十分ではないという地域のみなさまからの意見をお聞きすることがあります。基本的な生活習慣を身に付けさせるためにも、あいさつのきちんとできる子を育てていきたいと考えています。

昨年発生した東日本大震災の教訓を受け、新入生が揃った段階で、早速第1回目の避難訓練を実施しました。1年生は6年生に導かれ、学校としては一番高い校舎の3階部分に避難しました。いざという時は時間を見ながら、日向高校まで行くことにしています。

今年一年よろしくお願ひします。

【文責 本山】